
寄生虫検査

寄生虫検査(学校保健分野)の実施成績

東京都予防医学協会検査研究センター

実施状況

2005(平成17)年度は77,543件(寄生率0.41%)のぎょう虫卵検査を実施した。

東京都予防医学協会(以下「本会」)は糞便検査を主体とする検査機関(東京寄生虫予防協会)として1949(昭和24年)年に発足し、1969年頃までは糞便検査を年間10~93万件実施してきた。しかし、1973年の学校保健法の一部改正により、中学校以上の寄生虫検査(ことに糞便検査)実施の義務づけが省略されたことにより、翌年から検査数が大きく減少した。さらに、1994年には再び学校保健法が改正され、寄生虫検査は小学校低学年対象のぎょう虫卵検査のみの実施となり、翌年からの検査数は近年の児童生徒数の減少とあいまって減少し続けた。2002年度からは糞便検査についてはまったく実施されなくなった。

表1は、2005年度のぎょう虫卵検査の校種別、地区別の総合成績を示した。幼稚園・保育園の寄生率は特別区が0.26%、多摩地区は0.19%で特別区が0.07%高かった。島しょ地区では保卵者は見つからなかった。つぎに小学校の寄生率は特別区が0.46%、多摩地区は0.41%で特別区が0.05%高かった。島しょ地区では保卵者は見つからなかった。養護学校、特殊学校については、検査件数も少なく保卵者は見つからなかった。幼稚園・保育園と小学校の寄生率を比較すると特別区および多摩地区も小学校が約2倍高かった。

表2は、1949年から2005年までの寄生虫検査の年度別件数を示した。糞便とぎょう虫の検査件数は

1962年に100万件を初めて突破し、1969年に1,347,414件でピークに達した以後は年々減少し続け、2002年には10万件を下回り、2003年から本年度までの3年間は7万件台であった。また、寄生率についても0.41%と3年間ほぼ同じ値を示した。

図は、1975年から2005年までの年度別・虫卵別の寄生率の推移を示したが、年度別による検出率は、糞便検査は大きな変化がみられるが、ぎょう虫卵検査は漸減傾向となっている。

表1 ぎょう虫卵検査成績

(2005年度)					
校種区分	地区名	園・学校数	被検査者数	保卵者数	寄生率 %
幼稚園 保育園	特別区	118	11,738	31	0.26
	多摩地区	24	2,620	5	0.19
	島しょ	6	206	0	0.00
	計	148	14,564	36	0.25
小学校	特別区	194	49,520	227	0.46
	多摩地区	36	13,034	53	0.41
	島しょ	8	301	0	0.00
	計	238	62,855	280	0.45
養護学校 特殊学校	特別区	3	77	0	0.00
	多摩地区	1	47	0	0.00
	計	4	124	0	0.00
合計	特別区	315	61,335	258	0.42
	多摩地区	61	15,701	58	0.37
	島しょ	14	507	0	0.00
	計	390	77,543	316	0.41

表2 Annual Number of stool Examination for Parasites
by Tokyo Health Service Association (年次別検査件数)

(1949～2005年度)

Year (年)	Number (実施件数)				Total (合計)
	Stool Smear Examination (糞便検査)	Positive rate % (寄生率)	Scotch Tape Technic (ピンテープ法)	Positive rate % (寄生率)	
1949	101,875	72.0 %		%	101,875
1950 (昭和25年)	282,100	61.4			282,100
1951	428,055	50.4			428,055
1952	428,071	41.5			428,071
1953	470,703	32.0			470,703
1954	506,713	22.3			506,713
1955 (昭和30年)	491,039	15.3	302	28.5	491,341
1956	514,081	12.9	1,587	35.3	515,668
1957	557,384	14.4			557,384
1958	697,378	11.6			697,378
1959	735,510	8.9	21,247	25.6	756,757
1960 (昭和35年)	867,087	6.8	34,243	22.3	901,330
1961	927,762	6.3	70,971	21.7	998,733
1962	931,302	4.5	112,556	17.0	1,046,093
1963	783,375	3.8	277,739	16.3	1,077,822
1964	812,016	2.8	397,560	13.6	1,209,576
1965 (昭和40年)	784,412	1.9	445,109	9.6	1,229,521
1966	751,739	1.7	518,585	7.6	1,270,324
1967	717,336	0.7	549,662	6.6	1,279,375
1968	687,148	0.7	581,316	7.7	1,268,462
1969	683,067	0.59	664,347	6.5	1,347,414
1970 (昭和45年)	629,082	0.42	706,480	5.2	1,335,562
1971	546,521	0.44	759,557	4.96	1,306,078
1972	392,748	0.26	746,203	4.13	1,138,951
1973	238,173	0.19	656,517	3.68	894,690
1974	80,046	0.28	558,560	3.36	638,606
1975 (昭和50年)	64,730	0.30	461,791	3.39	526,521
1976	53,957	0.51	451,184	3.38	505,141
1977	52,820	0.59	452,227	2.98	505,047
1978	52,534	0.16	463,692	3.07	516,226
1979	52,312	0.10	488,099	3.05	540,411
1980 (昭和55年)	47,373	0.13	480,701	3.20	528,074
1981	47,498	0.15	473,859	3.24	521,357
1982	34,414	0.08	418,115	2.89	452,529
1983	40,454	0.10	432,502	2.60	472,956
1984	37,986	0.08	414,924	2.32	452,910
1985 (昭和60年)	31,431	0.09	385,718	2.02	417,149
1986	22,073	0.07	369,160	2.39	391,233
1987	19,802	0.05	350,179	2.40	369,981
1988	17,677	0.02	332,496	2.09	350,173
1989	17,574	0.02	322,507	2.17	340,081
1990	15,889	0.09	297,308	2.07	313,197
1991	11,858	0.03	266,181	2.18	278,039
1992	12,305	0.11	253,324	2.16	265,629
1993 (平成5年)	9,767	0.08	242,075	1.93	251,842
1994	9,626	0.07	221,650	2.03	231,276
1995	2,485	0.08	180,739	2.06	183,224
1996	1,932	0.05	177,274	1.57	179,206
1997	1,937	0.41	150,673	1.26	152,610
1998 (平成10年)	1,957	0.20	144,269	1.15	146,226
1999	2,052	0.05	140,851	0.93	142,903
2000	2,110	0.09	138,585	0.79	140,695
2001	672	0.00	112,364	0.62	113,036
2002	0		91,861	0.57	91,861
2003 (平成15年)	0		71,576	0.42	71,576
2004	0		76,467	0.44	76,467
2005	0		77,543	0.41	77,543

図 寄生虫卵別の検出率の年次推移

(1975~2005年度)

